

合併10周年 記念式典

8月8日、坂東市合併10周年記念式典が、市民音楽ホールにて開催されました。

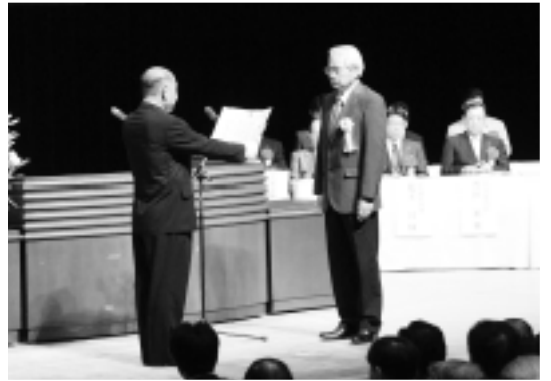
式典には、山口武平名誉市民をはじめ楠田副知事、国會議員、県議会議員、市町村長、議長などの来賓のみなさんと、市政発展にご尽力されたかたなど、約500人が出席しました。

第1部では、吉原市長の式辞、功労者表彰のほか、坂東市民の日(8月10日)制定発表、坂東観光大使の任命式が行われました。

第2部では、特別講演、災害協定締結報告、市民代表によるばんどう未来ディスカッションが行われ、祝典を盛り上げてくださいました。

◆合併10周年記念表彰

これまで市発展のため、各分野でご尽力をいただいた238人のかたと11法人、9団体、2学校を表彰しました。



◆市民の日制定

8月10日を、「ばん(8)どう(10)の日」として、坂東市民の日に制定する宣言書を、子ども観光大使のみなさんが読み上げました。(表紙左下)

◆観光大使任命

合併10周年を機に、市の魅力を全国に発信し、イメージアップや地域振興を図るため、「坂東市ふるさと観光大使」を創設しました。

観光大使には、坂東市出身の脚本家として活躍されています平林幸恵さんを任命しました。(表紙右下)

◆特別講演

東日本大震災で4mを超える津波に襲われながら、津波による死者を1人も出さなかった大洗町の小谷隆亮町長による特別講演が行われました。



◆災害協定締結報告

災害発生時の対応を強化するため、これまでに、各種団体と41件の協定を締結しています。今回、茨城むつみ農業協同組合及び茨城県石油商業組合坂東支部、一般社団法人茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部と災害における物資などの支援協定を締結しました。引き続き災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。



◆ばんどう未来

ディスカッション

各世代を代表した6人のみなさんと吉原市長が、「防災・出会い・坂東市のここが好き」をテーマに、これからの坂東市についてディスカッションを行いました。



市役所女子職員 アナウンス部

市では、「おもてなしナンバーワン」の行政を目指し女子職員アナウンス部を発足、17人が在籍し、定期的に講師の小川喜代子氏の研修を受け、修練を積み重ねています。

女子職員アナウンス部は、市が主催する式典やイベントなどの司会を務め、「坂東市の顔」として市のPRやサービスに努めています。また、司会者に職員を起用することで経費の削減を図っています。



▲女子職員アナウンス部の皆さん